

H23年3月22日

## 介護に携わる皆さま（協力依頼）

一般社団法人宮城県介護福祉士会  
会長 今出川 武志  
(公印略)

前略

宮城県介護福祉士会会長の今出川と申します。

この度の東日本大震災の被害につきましては心よりお見舞い申し上げます。皆さまにおきましても職場、ご自宅での生活につきましても、不便な中、要介護利用者の生活支援のため日々格闘されている点につきましても重ねて、ご労苦を労い申し上げます。

このような状況ではございますが、皆さまにお願いがございます。介護福祉士会では現在、避難所の介護支援を実施しようと考えて準備に取り組んでいます。

実は一昨日昨日と県からの依頼で女川、石巻に13名で介護支援に行ってきました。

避難所の環境はひどい状況で、介護が必要ななおむつ交換もまともに行われていない所もあるのです。食事等も全く同じで、支援物資の配給も場所によって違いが大きいことが分かってきています。

避難所によっては保健師や看護師、介護職の方が数名いるところもありますがいろいろな方の健康状態管理で精一杯です。ご家族、ご自宅を失い、片付けも満足に行うことができない状況の中で、昼夜問わず働いている方々がほとんどです。

介護職の皆さんにおかれましても、それぞれ勤務先の環境も停電、給水の問題や、被災者、避難者の受け入れをすでに実施したり、在宅においてはガソリンのない中、同様の不便な環境で大変な状況を乗り切ろうと日々格闘していることも重々承知しております。

しかし、被災地の避難所、施設はそれ以上の劣悪な環境の中、要介護者の方々の生活（生命）の維持のためにぎりぎりの状況におかれています。

そこで皆さまにお願いです。避難所の介護ボランティアを募りますのでご参加いただけないでしょうか？

皆さまのお仕事も関係や生活もあると思います。大切なのは安定した

支援の提供です。

とりあえずの方法として、金、土の夜間の介護を石巻、女川方面の避難所数か所に提供することから始めます。（3月18日から開始しています）

協力者が増えれば、曜日、支援箇所も随時広げていく予定です。

ボランティアの条件は以下の点です。

- 1 金曜、土曜のいずれかに一泊二日の日程が取れること。
- 2 午後1時に自治会館（県庁裏です）集合し、夜間介護を行い、翌日お昼頃に自治会館にて解散の日程が取れること（2泊3日も可）
- 3 介護経験が一年以上あること。（在宅、施設、介護福祉士の有無は問いません）

自治会館から現地への移動は介護福祉士会が行います。

皆さんに準備してもらうものは、

- 1 行程内の自分の食糧、水
  - 2 防寒対策
  - 3 自治会館までの集合離散の手段（当面は相談に応じます）
- ディスプレイグローブ、オムツ等は県及び当会が用意します。

ご興味のある方は是非お問い合わせを！！

別紙登録カードの送信（メール添付、ファックス可）

こちらから折り返しご連絡いたします。

宮城県介護福祉士会 事務局 雫石・今川

電話 022-398-5767 ファックス 022-399-6570

メールアドレス：[m.kaisikai@gmail.com](mailto:m.kaisikai@gmail.com)

又は

電話 080-4177-3930 今出川（イマデガワ）

メールアドレス：[wimade@ac.auone-net.jp](mailto:wimade@ac.auone-net.jp)

未曾有の大災害です。他県の方のご支援も始まっています。

同じ宮城県の介護を支えるためにお力をお貸してください。

敬具

一般社団法人宮城県介護福祉士会災害ボランティア活動登録カード

登録日 年 月 日

会員番号(会員であれば)		③生年月日 (西暦)	年 月 日
②ふりがな			
氏名・性別  (男・女)			
④住所	〒		
⑤電話			
緊急時連絡先			
携帯電話番号			
⑥E-mail			
⑦連絡のとれる時間帯			
⑧資格・免許など			
⑩できる活動内容・希望など			
⑫活動可能な日数・曜日など			
⑬その他要望など			

あると便利な持ち物等

懐中電灯・寝袋・ティッシュ・マスク・消毒液、常備薬、防寒具（カイロなど含）等

事務局記入欄	
--------	--

※登録に関する情報は、災害時の救援・支援活動の目的以外には一切使用しません。